

校内研究計画

甲州市立塩山中学校

1 学校課題 (主題設定を含む)

2 研究主題 「心豊かに、生きる力をはぐくむ教育の研究」

～学ぶ意欲を持ち、共に学び合う集団の育成を意図して～

3 主題設定の理由

今年度も、実践を継続・深化していくなかで「新指導要領の施行」を意識した教育活動を展開しながら、生徒の人間関係形成能力を伸長させ、学力向上へと繋げていくことを主眼に置いた研究の実践を図ることが大切であると考えます。また、「道徳の時間」の教科化を踏まえ、本校の道徳教育の確立に向けて取り組んでいくことが不可欠である。継続において大切なことは、その実践を行うまでのプロセスの検証をしっかりと行い、手法を吟味し、実践、そして、実践後の変容をしっかりと分析し、次の手立てを模索するPDCAサイクルとそのスパイラル化が重要である。多忙の中、おろそかにしがちであるこのことを、効率的・効果的に行っていくことが研究を深める上で重要であると考えます。

本校における教育活動の特徴である学級や学年という枠に捕らわれず、生徒一人一人に対して、多面的に目を配りながら、一人の生徒の学力向上をめざすために、教師集団のぶれない教育実践と、チームワークが学校力の向上につながることは明白であり、これまで同様教職員の中に築かれた塩中教育の根本である、生徒のために教師集団が一丸となって「チーム塩中」として研究を進めていきたい。

☆ 本校の研究の柱と新指導要領との関わり…

- (1) 意欲的に学ぶ集団づくり ⇔ 主体的・対話的で深い学び
- (2) 授業づくり、授業改善 ⇔ 生きて働く知識・技能の習得
- (3) 学びの主体となる生徒の「質的」向上 ⇔ 学びに向かう力・人間性の涵養

4 研究の柱となる具体的内容と方法

- (1) 意欲的に学ぶ集団づくりに関わって
 - ① 学びの場として、基本となる授業規律の確立。
 - ② 「hyper-QU」の実施と分析・活用。
 - ③ 「話し合いのルール」を生徒会と連携して確立。
 - ④ 学級集団におけるルールとリレーションの育成。
 - ⑤ 「主体的・対話的で深い学び」次期指導要領の改訂を意識した授業の展開。
- (2) 授業づくり、授業改善に関わって
 - ① 各種検査、試験の分析による生徒の実態把握と指導方法の改善。
 - ② 各種検査、試験の分析から課題をとらえ、「ステップアップ授業（一人一実践）」の授業研究に活かす。
 - ③ 「hyper-QU」による集団分析→集団の型に合った授業を仕組む。
 - ④ 実技教科における指導目標の明確化。
 - ⑤ 評価方法の検討。
 - ⑥ 「家庭教育・子育て」Q&A、家庭学習の手引きの活用。
 - ⑦ 家庭学習の充実のために定期的にチェック。
- (3) 学びの主体となる生徒の「質的」向上に関わって
 - ① 学力向上への取り組み（家庭学習の習慣化とステップアップノートの活用）。
 - ② 道徳教育の充実による生徒の情操の育成。
 - ③ 国語力向上の取り組みの継続。
- (4) 「主体的・対話的で深い学び」を意識した研究授業の実施
 - ① 今までの研究を生かした研究授業を実践。
 - ② 新指導要領をふまえ全員が一人一実践として、「ステップアップ授業」の展開。

平成29年度校内研究計画

研究テーマ		教科領域		担当者・学年等	授業予定日	TC要請				
①授業づくり、授業改善に関わる授業実践		数学		古屋 大樹	7月12日	あり				
②意欲的に学ぶ集団づくりに関わる授業実践		道徳		益田 宗士	10月11日	あり				
③学びの主体となる生徒の質的向上に関わる授業実践		学級活動		1学年	12月6日	あり				
回	月	日	曜	内 容		指導主事	望峰の時間	SUT	備考	一人一実践予定
1	4	4	火	第1回研究推進委員会			定着 4/10~22	4/20 国 (1・2年)		
		5	水	全体研究会①	<ul style="list-style-type: none"> 研究の方向性 ステップアップノートについて hyper-QUIについて ネガティブチェックについて 					
		11	火	学力向上プロジェクト研究主任会						
		12	水	知能検査						
		13	木	NRT検査						
		14	金	NRT検査						
		18	火	全国学力・学習状況調査 山梨県学力状況把握調査						
		19	水	全体研究会②	<ul style="list-style-type: none"> 研究の概要 年間計画 具体的な手立て 					
		25	火	h-QUIアンケート 学力プロジェクト地域・保護者連携部会						
		2	5	8	月	甲州市プロジェクト				
10	水			春季教研 教協研究部会①						
11	木			第2回研究推進委員会						
13	土			県春季教研						
17	水			全体研究会③	<ul style="list-style-type: none"> ・K-13法について 講習会を受けて…3-1の分析を全員で検討 →各学年実施(期間を設ける) ・NRTの結果分析と指導法の確認 					
24	水			教協研究部会②						
31	水			全体研究会④	<ul style="list-style-type: none"> ・NRTによる学力の現状把握及び改善策 ・テストの分析について ・SSTとSGEについて ・指導案について ・「学びの集会」について 					
14	水			教協研究部会③						
15	木			学びの集会						
21	水			全体研究会⑤	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究① 評定について 	○				
23	金	甲州市プロジェクト【学級づくり学習会・鹿嶋真弓先生】								
5	水	甲州市プロジェクト【授業づくり講演会 市川伸一教授】								
12	水	全体研究会⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期のまとめ ・新指導要領について 							
31	月	教協研究部会④								
7	8	5	金	教育講演会 ブロック交流① 学習会			8/31 国			
		16	水	全体研究会⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程還流報告 ・新指導要領の学習 					
		23	水	全体研究会⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期に向けて ・道徳の資料の検討 					
		30	水	統一授業研究会 教協研究部会⑤						
9	9	19	火	共同絵画(全学年)		「炎翼祭」	9/7 社 9/14 数 9/28 英			
		20	水	教協研究部会⑥						
		27	水	全体研究会⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・新指導要領について 					
				【3年のみ】						
回	月	日	曜	内 容		指導主事	望峰の時間	SUT	備考	一人一実践予定
10	10	3	火	第1回到達検			10/5 国 3年のみ 10/12理			
		11	水	第2回hyper-QUIアンケート実施						
		11	水	全体研究会⑩	研究授業②(新採授業をあてる)	○				
		18	水	甲州市プロジェクト【授業づくり・授業改善にかかわる学習会:盛山隆雄先生・細水先生】						
11	11	1	水	全体研究会⑪	・道徳の資料の検討	○	強化 11/10~21	11/2 国 11/9 社 11/16 数 11/30 英	k-13法… 11/1 ~ 11/30	
		9	木	第2回到達検						
		17	金	グルグルエンカウンター④						
		21	火	授業参観(全校道徳)						
		22	水	ブロック交流② 中学校授業公開						
		29	水	教協研究部会⑦						
1	金	甲州市プロジェクト【教育講演会:河村茂雄先生】								
6	水	全体研究会⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業②・③(新採授業をあてる) ・研究紀要の分担について 	○	12/7理 12/14国 12/21社					
1	13	10	水	教協研究部会⑧			1/11 数 1/18 英 2・3年			
		17	水	ブロック交流③ 小学校授業参観						
		19	金	グルグルエンカウンター⑤						
		25	水	全体研究会⑬	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳について ・新指導要領について 	○				
24	水	甲州市プロジェクト【学級づくり講演会:直山木綿子先生】								
2	14	7	水	統一授業研究会 教協研究部会⑨			2/1 国 1・2年 2/8 社 2/15 数 2/22 英			
		14	水	冬季教研 教協研究部会⑩						
		22	水	全体研究会⑭	・今年度の研究の反省					
28	水	全体研究会⑮	<ul style="list-style-type: none"> ・CRTの分析と活用について ・来年度の方向性 							
3	2	金	CRT検査			3/1理 3/2学年 3/15学年 3/22学年				

★K-13法(簡易版)による学級集団分析は各学年ごと実施する。